

# 基礎マクロ経済学 中間試験

【注意】マークシート形式の試験です。マークする場所は ①～④ のように指示していますが、わかりにくければ手をあげて質問してください。持ち込みは不可です。

## 1. 次の文章を読んで以下の問いに答えよ。(3点×4+5点×3=27点)

日本の国内総生産 (GDP) は 2006 暦年の名目値でおおよそ ① 百兆円である。GDP については三面等価の原則が成り立つが、これは GDP を ② 面、③ 面、④ 面から計測したときに全て等しくなることをいう。② 面から GDP を考えるときには、GDP が国内で生まれた付加価値のグロスの合計だということに注意しよう。持家の住宅サービスは GDP に ⑤ し、外国人に東京を案内するサービス料は ⑥。生産して次の期に在庫として繰り越さずに廃棄したものは ⑦ し、固定資本減耗は ⑧。③ 面からみると、家計消費 (民間最終消費支出) が支出の約 ⑨ 割を占める最大の項目であり、約 15% を占める民間企業設備投資がこれに続く。海外部門を考えなければ、② 面と ③ 面からみた GDP が等しいという関係は  $Y = C + I + G$  と表現できる。投資  $I$  と政府支出  $G$  がなんらかの外生的な要因で決まっていて、消費  $C$  が所得  $Y$  の 1 次関数で表現できると仮定すると、投資  $I$  か政府支出  $G$  が 1 単位増えると、所得  $Y$  はそれ以上に拡大することが期待される。たとえば限界消費性向が 0.8 のとき、 $Y$  の増加量を示す政府支出乗数は ⑩ である。この政府支出乗数は限界消費性向が大きいほど ⑪。④ 面からは、GDP は雇員報酬や営業余剰に分けられる。家計の可処分所得に占める純貯蓄の比率を純貯蓄率といい、近年の日本では約 ⑫ % という水準である。今後の高齢化の進展を考えると、⑬ からは貯蓄率は中長期的には ⑭ なると考えられる。

(a) ①～⑧に入る 1 ケタの数値を答えよ。①～④

(b) ②～④に入る言葉の組合せとして最も適切なものを一つ選べ。⑤

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 1. A: 分配, B: 支出, C: 生産 | 2. A: 分配, B: 生産, C: 支出 |
| 3. A: 支出, B: 分配, C: 生産 | 4. A: 支出, B: 生産, C: 分配 |
| 5. A: 生産, B: 支出, C: 分配 | 6. A: 生産, B: 分配, C: 支出 |

(c) ⑤～⑧には、「含まれる」か「含まれない」のいずれかが入る。「含まれる」を○、「含まれない」を×とするとき、⑤～⑧の組合せとして最も適切なものを一つ選べ。⑥

- |            |            |          |        |
|------------|------------|----------|--------|
| 1. ○-○-○-○ | 2. ○-○-○-× | 3. ○-○-× | 4. ○-× |
| 5. ○-○-×   | 6. ○-×     | 7. ○-×   | 8. ○-× |

(d) □欄  ～  に入る言葉の組合せとして適切なものを一つ選べ。

1. あ: 大きい, い: ケインズ型消費関数仮説    う: 高く
2. あ: 大きい, い: ライフサイクル仮説,        う: 高く
3. あ: 大きい, い: ケインズ型消費関数仮説,    う: 低く
4. あ: 小さい, い: ケインズ型消費関数仮説,    う: 高く
5. あ: 小さい, い: ライフサイクル仮説,        う: 高く
6. あ: 小さい, い: ケインズ型消費関数仮説,    う: 低く
7. あ: 小さい, い: ライフサイクル仮説,        う: 高く

2. 以下の文章の□欄に当てはまる整数を求めよ。解答にあたっては、カタカナ一文字を数字一つに対応させてマークすること。また、解が1ケタになるばあいには、十の位をゼロとマークすること（例：に入る数値が7であるばあいには、には0、には7をマークせよ）。(4点×7=28点)

(a) 2期間だけ生きる個人を考える。この個人の効用関数は、第1期の消費  $C_1$ 、第2期の消費  $C_2$  に対して、 $U = C_1 C_2$  という積の形で表現できるとする。この個人はふとした拍子に将来にわたって毎期10万円の利息を受け取ることのできる永久債を手に入れたので、いったんこの永久債を売却し、得たお金で2期間を過ごすことにした。利率が10%で、債券価格が割引現在価値に等しかったので、債券は百万円で売却された。この収入だけをもとに第1期の消費と貯蓄を決定し、効用を最大化したところ、この個人の第1期の消費は万円に、第2期の消費は万円になった。(8～13)

(b) コブ・ダグラス型生産関数  $Y = 2K^{1/2}L^{1/2}$  を持つ企業を考える。この企業が利率と賃金率を所与として利潤最大化を行うとき、資本分配率は%、労働分配率は%になる。資本が2単位あり、賃金率が0.5であるとき、この企業が雇用する最適な労働量は単位である。(14～19)

(c) 海外部門を考えない45度線モデルを考える。民間消費  $C$  が、所得  $Y$  から一括税  $T$  を引いた可処分所得  $Y - T$  の線形関数として表現され ( $C = c_0 + c_1(Y - T)$ )、政府は均衡財政政策を採っている ( $G = T$ ) とする。 $c_1$  が0.8のとき、均衡財政を保つたまま財政支出を増やすときの政府支出乗数はである。(20～21)

3. 分配面の GDP から国民所得や可処分所得を計算する。2006 暦年の実績値を用いた表の□欄「ア」～「オ」に当てはまるものを下から順に選べ。(3点×5=15点) (22～26)

|   |                   |   |           |
|---|-------------------|---|-----------|
| A | 雇用者報酬 (国民)        |   | 262,750.7 |
| B | 営業余剰・混合所得 (国民)    |   | 107,778.0 |
| C | A+B               | ア | 370,528.7 |
| D |                   | イ | 40,467.8  |
| E | C-D               | ウ | 410,996.5 |
| F | 海外からのその他の経常移転 (純) |   | -918.4    |
| G | E-F               | エ | 410,078.1 |
| H | (控除) 最終消費支出       |   | 380,677.0 |
| I | G-H               | オ | 29,401.1  |

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1. 市場価格表示の国民所得 | 2. 要素費用表示の国民所得      |
| 3. 国民可処分所得     | 4. 家計可処分所得          |
| 5. 国民総生産       | 6. 国内総生産            |
| 7. 在庫品増加       | 8. 生産・輸入品に課される税－補助金 |
| 9. 総固定資本形成     | 0. 貯蓄               |

4. 次の文章を読んで以下の問いに答えよ。(2点×7+1点×6+5点×2=30点)

日本銀行は日本の中央銀行として通貨および金融の調節を行っている。金融政策の実施手段はおもに3つ考えることができる。「A」, 「B」, 「C」である。規制金利の時代には「B」が中心的な役割を果たしていたが、現在では「A」が中心となっている。買いオペと呼ばれる「A」では、日本銀行が市中銀行から保有する国債等を買って資金を「あ」する。資金を「あ」された金融機関は余裕資金を銀行間市場等で運用しようとするため、金利に「い」圧力がかかる。このようにして日本銀行は、銀行間取引の翌日物無担保コールレートを一定の水準に誘導(現在の誘導水準は「a」%)している。いまひとつの実施手段である「C」は、信用創造過程に介入してマネーサプライを変化させる。この方法は、中国などでは利用されているものの、現在の日本ではほとんど利用されていない。設備投資が過熱しているとき、金融政策によって実質金利が「う」げられれば、企業にとっての資本コストが「え」するから望ましい資本ストック水準は「お」し、投資は「か」すると考えられる。

さて、日本銀行が調整している物価の上昇率であるインフレ率と、失業率のあいだには負の相関関係があるという経験則が「フィリップス・カーブ」という名前でも知られている。現在の日本のインフレ率(CPIの上昇率)は「b」%前後、完全失業

率は  % 台であるから、戦後のこれまでのインフレ率、失業率と比べてみると、インフレ率は低く、失業率が高い状態にあるとも考えられよう。現在の日本の労働市場についてみれば、就業者に占める非正規職員・従業員の比率が大きくなってきており、最近では就業者の約  割が非正規就業者となっている。

(a) □欄  ～  に入る言葉を以下から選べ。  = ,  = ,  =

- (1) 窓口操作                      (2) 銀行間市場操作                      (3) 預金準備率操作  
(4) 現金預金比率操作              (5) 公定歩合操作                      (6) 公開市場操作

(b) □欄  ～  に入る言葉を以下から選べ。

- |                                |       |       |                                 |                                |       |       |                                 |
|--------------------------------|-------|-------|---------------------------------|--------------------------------|-------|-------|---------------------------------|
| <input type="text" value="あ"/> | 1. 需要 | 2. 供給 | <input type="text" value="30"/> | <input type="text" value="い"/> | 1. 低下 | 2. 上昇 | <input type="text" value="31"/> |
| <input type="text" value="う"/> | 1. 引下 | 2. 引上 | <input type="text" value="32"/> | <input type="text" value="え"/> | 1. 低下 | 2. 上昇 | <input type="text" value="33"/> |
| <input type="text" value="お"/> | 1. 低下 | 2. 上昇 | <input type="text" value="34"/> | <input type="text" value="か"/> | 1. 減速 | 2. 加速 | <input type="text" value="35"/> |

(c) □欄  ～  に入る数値を以下から選べ。  = ,  = ,  = ,  =

- (1) -1                      (2) -0.5                      (3) 0                      (4) 0.5                      (5) 1  
(6) 2                      (7) 3                      (8) 4                      (9) 5                      (10) 6

(d) 下線部「信用創造過程」について以下のような状況を考える。ある国の現金・預金比率が 20%、法定準備率が 10% であるとしよう。このとき、マネーサプライを 10 兆円増加させるのに必要なハイパワードマネーの増大額はいくらとなるか、次のなかから選べ。

- (1) 1 兆円                      (2) 2 兆円                      (3) 2.5 兆円                      (4) 5 兆円

(e) 波線部「CPI」とあるが、以下の表のように消費量と価格が変化するとき、2000 年を基準年とした 2007 年の物価指数はいくらか。CPI と同じように計算した場合の指数を次のうちから選べ。

|     | 2000 年 |    | 2007 年 |    |
|-----|--------|----|--------|----|
|     | 消費量    | 価格 | 消費量    | 価格 |
| 米   | 15     | 12 | 12     | 30 |
| 賃貸料 | 12     | 10 | 15     | 20 |
| 衣服  | 10     | 5  | 12     | 15 |

- (1) 230                      (2) 237                      (3) 240                      (4) 247

以 上

[おまけのお尋ね] 今後の教育研究の参考にしたいので、よろしければ次の質問にお答えください。答えなくても成績評価には影響しません。統計的処理を施して公開されるかもしれませんが、個人情報保護は保護され、個人が特定されることはありません。

・生まれた年と月を教えてください：西暦の下 2 ケタ →  , 月 →